

2025年2月23日  
2月第四主日礼拝式



教会福音讃美歌232番 「われらはキリストのもの」

- 1 キリストは 私の罪を背負(せお)うために  
ただひとり 十字架にいのちを献(ささ)げられた  
**\* われらはキリストによって 愛のうちに建てられる  
われらはキリストのもの 主はわれらのもの**
  
- 2 賜物(たまもの)は 仕え合うため与えられる  
キリストのうるわしい姿(すがた)に近づくため (\* )
  
- 3 みことばは 救いの御手(みて)のわざを示(しめ)す  
人々を 永遠のいのちへ みちびくため (\* )

# 81 主を待ち望む者は

主を待ち望む者は 新たに

力を受けて のぼる

走り疲れず 歩みてうまず

鷺のように のぼる

## 新聖歌242番 「われに聞かしめよ」

1 \*われに聞かしめよ 主の物語(ものがたり)

世(よ)にもたぐいなく 良き物語(ものがたり)

天使ら声高く みあれ祝しぬ

「栄光 神にあれ 平和 地にあれ」と \*くり返し

2 われらを贖(あがな)い きよくなす主は

野にて試(こころ)みに 勝ちしイエスなり

気落ちせし者を もたげ立たすは

憂いも涙も なめしイエスなり \*くり返し

3 十字架にかかりて われらの罪を 贖いたまいし 主の物語

聞かたび読むたび 心 溶(と)けゆき

感激(かんげき)の涙に 目は曇(くも)るなり \*くり返し

アーメン

# 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌202番 「一度 死にしわれをも」

- 1 一度 死にしわれをも イェスは生かしたまえり  
咎(とが)と罪の代わりに 新たなるいのちあり  
\* 時の間(ま)をも惜しみて きみはわれと語ろう  
きみはわれを放(はな)たず われはまた 主にぞつく
- 2 流れ落つる涙も 肩にになう荷物も  
君は知りて憐れみ 愛の御手のべ給う (\* )
- 3 うめき叫ぶ夜(よ)はなし 罪とえにし断(た)ちし身  
み座に近く安らい 天つ歌 つねに聞く (\* )
- 4 病めるわれに手を置き 弱きところ強くし  
まがに幸に励ます 主イェスこそ神にませ (\* )

# 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン